

1. 越前市中心市街地活性化の将来像と基本方針

(1) 中心市街地の将来像

『越前国府1300年の歴史と文化が薫る安らぎのまち、武生』  
～全ての世代が共に支え合い、住み・働き・交流するまち～

本市の礎を築いた『越前国府 1300 年の歴史と文化』は、越前市民の誇りとアイデンティティを醸成するかけがえのない貴重な財産であるとともに、過去の遺産ではなく、時代を超えて未来永劫にわたって“共生”すべき、“市民に身近な地域資源”であると言えます。

今後の中心市街地の活性化推進にあたっては、『越前国府の歴史と文化』を生かすことにより、『全ての世代が共に支え合い、住み・働き・交流するまち』の形成を目指します。

(2) 中心市街地活性化の3つのテーマと6つの基本方針

「中心市街地の将来像」の実現を目指して、今後、新庁舎の建設などを契機にした半世紀に一度のまちづくりに取り組めますが、その際、『越前国府の歴史と文化』を生かしつつ、「武生の顔づくり」、「暮らしの再生」、「にぎわいの再生」の3つのテーマと、これに基づく6つの基本方針に沿った多様な施策を推進し、活力ある中心市街地の創出を目指します。

《中心市街地活性化の3つのテーマ》

テーマ1  
武生の顔づくり

- ▶ 新庁舎の建設を契機に、市民との協働による“武生の顔づくり”を進めます。

テーマ2  
暮らしの再生

- ▶ 誰もが健康で安心して“いきいきと暮らせるまちづくり”を推進し、暮らしの再生を目指します。

テーマ3  
にぎわいの再生

- ▶ 住民や商業者、市民団体、学生、まちづくり会社などの連携・交流により、にぎわいの再生を目指します。

《中心市街地活性化の6つの基本方針》

テーマ1  
武生の顔づくり

1-1 新庁舎建設を契機とした、市民との協働による“武生の顔づくり”の推進

- 中心市街地で進められている新庁舎の建設、武生中央公園の再整備など複数の拠点的施設の整備と併せて周辺道路の整備を行い、新旧の歴史的な地域資源をネットワークで繋ぐことで武生の顔づくりの一層の推進を図ります。
- 新庁舎の交流施設やシンボルロードの歩行空間、公園・広場等の公共空間を市民と協働で活用する仕組みを構築し、官民連携により活性化を推進します。

1-2 歴史、水、緑を大切にした“美しい景観”の形成

- 国府のアイデンティティである歴史が感じられるように、まちの歴史文化の掘り起しや、史跡調査・研究を行い、社寺、町屋、蔵、伝統工芸等の歴史資源の保存・活用を図ります。
- 景観計画・景観条例により、歴史、水、緑を大切にした美しい景観の形成を図ります。

テーマ2  
暮らしの再生

2-1 若い世代等の定住を促進する総合的な“まちなか居住”の推進

- 公共サービスや商業、交通結節点などの多様な都市機能が集積するメリットを活かし、歩いて暮らせる居住環境の整備を行います。
- 空き家など既存ストックの活用も含めた住宅の供給を促進し、医療・福祉・子育て環境の充実を図るとともに、雇用の場を創出することで、U・Iターンを促進し、若年世代の定住を推進します。

2-2 誰もが健康で安心して“いきいきと暮らせるまちづくり”の推進

- 少子高齢化が進むなか、誰もが健康で安心して暮らすために、健康意識を高め、日頃からまち歩きや交流を促すための取組みを展開します。
- 新庁舎や交流施設の建設、武生中央公園の再整備等、道路・交通ネットワークの形成を図り、高齢者の外出を促す取組みを推進します。

テーマ3  
にぎわいの再生

3-1 多様な主体の活動と交流による“にぎわい”の創出と“魅力ある商業”の振興

- 住民や商業者、市民団体、学生、企業、まちづくり会社、行政などが連携した、地域との共生や協働によるにぎわい創出事業や、歴史的な景観や街並みなどの地域資源を活用した活動を推進します。
- 住民や来訪者が歩いて買い物ができる環境を確保するため、個店の魅力を向上するとともに、新たに中心市街地に開業する者を支援するなど、商業の振興を図ります。

3-2 越前の歴史・文化やモノづくり、食を発信する“まちなか観光”の推進

- 平成 35 年春に予定されている北陸新幹線南越駅（仮称）の開業による広域からの来訪者も見据え、市内外の人々がまちを訪れ、暮らしに息づいている歴史文化や伝統工芸、食文化などを通して、五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、臭覚)に訴える“まちなか観光”の推進、及び情報発信の強化を図ります。

2. 戦略的まちづくりの方針

戦略1 新庁舎の建設を契機とした、中心市街地の都市構造の再構築

新庁舎の建設をはじめ武生中央公園の再整備など、複数の都市拠点施設の整備が計画されています。これらの事業を契機に、武生中央線のシンボルロード化や周辺道路の整備など都市構造の整備を総合的に推進し、市民が安心して快適に暮らし、来訪者にも誇れる中心市街地の都市機能に再構築します。



左から現在の市庁舎、北府駅、武生中央線

<期待する効果>

- ① まちに対する市民の愛着・誇りの醸成と、来訪者にも誇れる武生の顔づくり
- ② 市民が快適に暮らすことができ、都市拠点施設間を繋ぐ安全・安心なネットワークづくり

戦略2 まちづくり会社の設立を契機とした、多様な主体の連携による多彩なまちづくりの展開

平成27年4月に設立された「まちづくり武生(株)」は、「地域の新しいつながりをつくり、武生のまちの魅力を高め、次世代に“まち”を継承していく」ことを理念に、中心市街地のまちづくりをサポートしています。

これまで取り組んできた空き地・空き家の活用に加え、住民・商業者・市民団体・大学との連携など、多様な主体と連携した事業を展開します。



市民参加型まちづくりワークショップ

<期待する効果>

- ① 中心市街地の最重点課題の一つである空き地・空き家の活用の推進
- ② 地域の新しいつながりづくりの推進による、まちづくりに参画する市民の拡大
- ③ 商業施設等の既存ストックを活かした商店街の再生

戦略3 北陸新幹線南越駅(仮称)の開業効果を中心市街地に波及させる戦略的施策の展開

平成35年春に予定されている北陸新幹線金沢・敦賀間開業は、本市の地域振興に大きく貢献する効果が期待されます。その効果を中心市街地に波及させる戦略的施策の展開が必要になります。特に観光客を中心に、これまでJR武生駅を利用していた広域圏からの来訪者の多くが、南越駅(仮称)を利用することが予想されることから、約3km離れた中心市街地に誘引する施策を、中心市街地の観光・商業関係者等が一体となって戦略的に展開します。



中心市街地の歴史的観光資源  
左から総社、蔵の辻、タンス通り

<期待する効果>

- ① 北陸新幹線南越駅(仮称)開業効果の中心市街地への波及
- ② 中心市街地の観光・商業関係者等の一体化

《中心市街地活性化の戦略方針図》

